

ウォーターPPP導入支援

私たちの生活に欠かせない上下水道を未来へつなぐため、官民が連携して事業を行う「ウォーターPPP」が注目されています。

●水インフラが直面する3つの課題

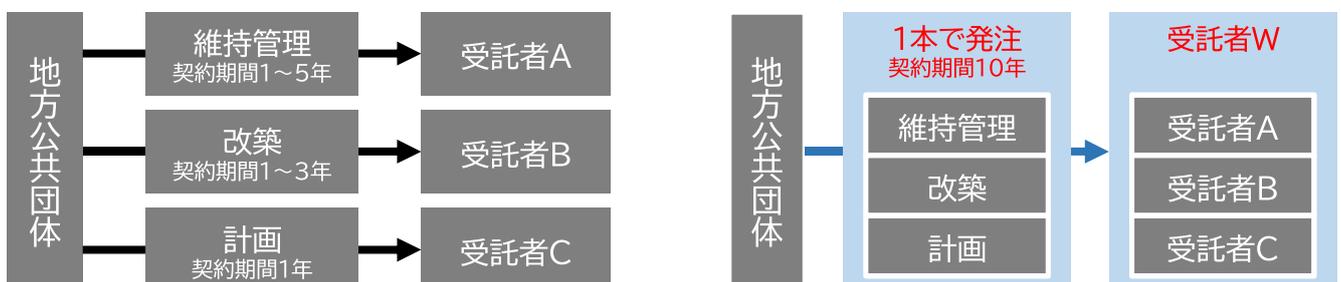
ヒト(職員数減少)	モノ(施設老朽化)	カネ(収入減少)
 <ul style="list-style-type: none"> ●職員数が減少 ●専門的な技術力の不足 ●技術継承が困難 	 <ul style="list-style-type: none"> ●施設の更新需要が増加 ●管理すべき施設(ストック)の維持管理費が増大 	 <ul style="list-style-type: none"> ●人口減少などに伴い収入が減少傾向 ●経費回収率が低下

●課題解決に向けたPPP/PFI手法“ウォーターPPP”

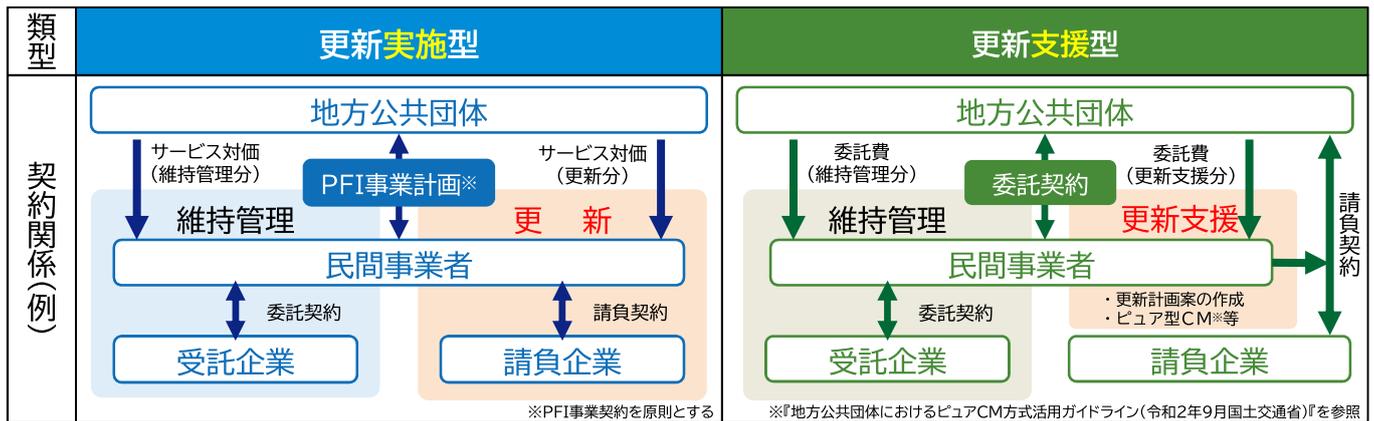
地方公共団体(管理者)	民間事業者等		
下水道法上の最終責任	民間委託できない		
公権力行使	民間委託できない		
モニタリング・履行確認	民間委託になじまない		
交付金等の事務手続き	※ただし、案の作成等、協力及び支援を民間委託にすることは可能		
計画策定(事業計画等)	民間委託になじまない		
災害対応	民間委託になじまない		
利用料金直接収受	コンセッション方式		
更新(改築)の発注業務の委託	更新支援型		
設計・積算	更新支援型		
更新計画案作成	更新支援型		
修繕計画案作成・実施	包括的民間委託	更新支援型 ※CMまで含む場合	更新実施型
ユーティリティ調達・管理	包括的民間委託	更新支援型	更新実施型
水質管理、運転操作、保守点検	包括的民間委託	更新支援型	更新実施型
	レベル1~3	レベル3.5	
			レベル4

従来の業務形態 (個別発注)

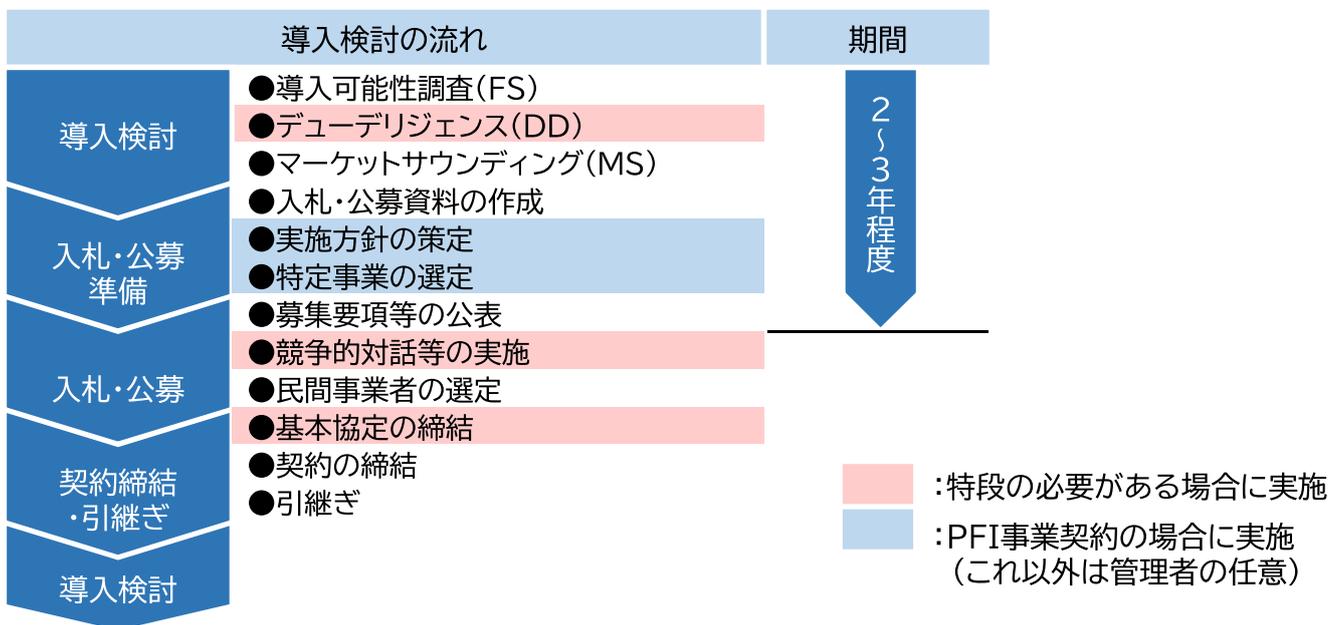
これからの業務形態 (ウォーターPPP)



●管理・更新一体マネジメント方式（レベル3.5）の概要



●ウォーターPPP導入の流れ



●導入業務の補助制度（官民連携等基盤強化推進事業）

	レベル4 コンセッション 方式	レベル3.5			
		他分野連携+ 他地方公共団 体連携	他分野連携 (特に下水道 一体)	地方公共団体 連携 (広域・共同)	下水道もしく は水道分野の み
上限額	5千万円	4千万円			2千万円
導入可能性調査(FS)	○	○	○	○	○
資産評価 デューデリジェンス(DD)	○	○	○	○	○
実施方針・公募資料の作成	○	○	○	○	×
事業者の選定	○	○	○	○	×



地域創水で、地方創生を。

株式会社 **中央設計技術研究所**
Chuu Sekkei Engineering Co., Ltd

●本社 〒920-0031 石川県金沢市広岡三丁目3番77号
JR金沢駅西第一NKビル7階
●TEL(076)263-6464(代) FAX(076)263-6922(代)
●URL<https://www.cser.co.jp/>